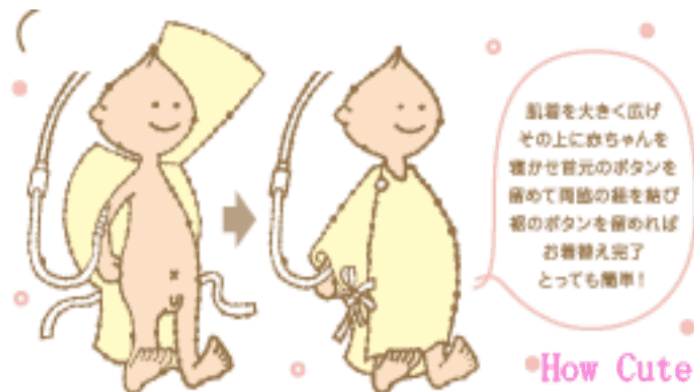


# HappyFroggy News Letter.2



「1枚の肌着を作るのにどれだけの手間とコストがかかるか学びなさい」縫製工場では朝から夕方まで何度も通って修行させてもらったことがあります。布地を幾重にも重ねてバームクーヘンのように厚くしたものをイタリア製の Cutter で切っていきます。コツがつかめないとズレてしまって商品になりません。カットした肌着を今度は縫製していきます。業務用のミシンは家庭用に比べるとパワーがある分、扱いも難しく、慣れるまでは1枚縫うのに時間がかかりました。「ちんたら縫っていたら日が暮れる。ウチが吉川さんを雇っていたらクビだよ」縫製工場では効率が求められます。できるだけ多く早く、なおかつ正確に縫っていかないとイケません。そのコツを縫製してくださる方の手元を見ながら学んで実践する。失敗するとバイアスが引っ張られ、布地が反り返ります。出来上がった1枚の肌着は不格好でしたが、自分では大満足でした。私がこだわっているデザインは丸みです。HowCute の点滴用肌着も裾が丸いのは、赤ちゃんがより可愛らしく見えるため。無駄が出やすいデザインなので、通常は縫製工場などでは嫌がられる形です。HowCute の肌着は全て国産の日本製。優しい女性たちが縫ってくれています。ぜひ、多くの皆さまにお手に取ってご覧いただきたいです。



<サイズ>  
サイズ20(ミニミニ)  
着丈20cm、～1.4kg

サイズ30(未熟児)  
着丈30cm、～2.5kg

サイズ50(新生児)  
着丈60cm、～5kg

1.4kgの赤ちゃん、サイズミニミニご着用です  
点滴用肌着は医療器具の邪魔をしません



未熟児サイズ着用の赤ちゃん  
お袖が大きく開きます  
プラスチックボタンなので  
レントゲンもOK

## <看護師さんの声>

「点滴肌着は普通の肌着のように合わせがないので、仰向けでもうつ伏せでも合わせがあたることはありません。保育器で過ごす赤ちゃんは仰向け、うつ伏せといろいろな姿勢をとることが多く、肌もまだ未熟なので、仰向けでもうつ伏せでも段差なくフラットに着られることは大きなメリットだと思います。もうひとつとても良い点は、うつ伏せになっていてもすぐに肌着をめくって観察できることです。通常の肌着だとまず仰向けにしてから服を脱がせたりしなくてはならないのですが、点滴肌着は裾のスナップや脇の紐をはずすとすぐに全身の観察ができます。保育器の中でまだ呼吸が不安定・無呼吸発作を頻繁に起こすようなお子さんにもとても使いやすいです。保育器にいるような小さなお子さんには、点滴をしてなくても点滴肌着がぴったり!と思いました」

<製作メーカー> 点滴用肌着  
HappyFroggy.com

<http://howcute.jp/>